

違法薬物は全世界的な広がりを
見せており、日本では「第3次薬物
乱用期」と言われています。その10
年中の国内の実態を、このほど警察
庁が発表しました。

目立って増

えているのは
「覚せい剤」と

「大麻」の使用、所持の二つです。覚
せい剤は検挙者が約1万2千人。年
齢別では30歳代が最も多く、40歳
代と合わせると全体の約64%。初犯
者の割合は約40%、再犯者は約

薬物乱用は身の破滅

60%となっています。

一方、大麻の検挙者は約2200
人。うち最も多い20歳代と30歳代
を合わせると全体の約87%。初犯
者は減少したものの全体の約81%を

占めています。

犯罪の陰には
必ず暴力団や不

良外国人が絡んでいます。悪の組織
が若年層を「金づる」にし、人間の生
命や社会の安全を脅かす違法薬物。
絶対に許して
はなりません。

防犯一口メモ